

議事録

件名	第27回高齢者の安全対策委員会
日程	令和3年3月22日（月）～令和3年3月30日（火）
参加者	濱本委員長、近藤副委員長、井上委員、漆原委員、桑島委員、木下委員、守永委員、有川委員、赤裏委員、藤木委員、吉塚委員、柴尾委員、野口委員
次第	1. 報告事項(1)今後の主なスケジュール (2)セーフコミュニティ活動推進事業所登録制度について 2. 協議事項(1)2020(令和2)年度実績及び2021(令和3)年度方針（案）について (2)セーフコミュニティ実態調査及び市民意識調査について 3. その他
意見	1. 報告事項 (1)今後の主なスケジュール 意見なし (2)セーフコミュニティ活動推進事業所登録制度について 意見なし  2. 協議事項 (1)2020(令和2)年度実績及び2021(令和3)年度方針（案）について
委員①	対面による活動に大幅な制限があり、ネット動画やDVDなどで啓発していく方法が主流となっているが、私自身が直接行った地域団体への講演や家族介護教室などでは、やはり対面による活動として、格段に盛り上がる。コロナの間を見て、対面でもできる道を模索したい。「こんなことをやっている」という広報や団体発表があると盛り上がるかもしれない。
委員②	資料2-7、令和3年度の方針及び課題等の項目で「まちづくり振興会や老人クラブなど地域住民と協力・連携し・・・」とある部分に「校区社会福祉協議会（ふれあいの会）」を加えられないか。（校区社協の取組として地域住民のボランティアによる高齢者等への訪問見守り活動に長く取り組んでいることから。）
委員③	高齢者の介護予防の取組の手法として、今年度はYouTubeで配信されたが、SNSの利用は高齢者は少ないため、くーみんTVやTNCとかラジオでの周知啓発をされてはどうでしょうか。
事務局	ご意見ありがとうございます。今後の取り組みの参考とさせていただきます。 また、資料については、「老人クラブ」の後に「校区社会福祉協議会（ふれあいの会）」を追加いたします。
委員①	(2)セーフコミュニティ実態調査及び市民意識調査について 全ての項目について回答をお願いするのはちょっと分量が多くて酷かも・・・。 紙だけでなく、インターネット回答も併用したらどうか。ただ、なりすましもあったら困るので、郵送で事前に「合言葉」を送っておくといいと思う。（ゲーム的要素が加わると回答しやすいかも・・・。）

委員③	設問多すぎではないか？内容を吟味されては。
事務局	ご意見ありがとうございます。当委員会での意見・案として対策本部事務局に連絡いたします。 質問項目の最終決定については、対策本部事務局が行うため、案が採用されないこともありますので、ご了承ください。
	3. その他
委員①	コロナを恐れるがあまり、外出せず自宅にこもる方が増えている。通常より早いペースで廃用が進んだり、認知症が増悪しているケースが、以前よりよく散見されるようになりました。昨今の流れで言う「地域の力」「自助・互助」的に考え、もう少し民生委員や自治体の方にもインセンティブ（資金面）の充実を考えて欲しい。
委員③	セーフコミュニティの活動を住民に周知することとして、校区単位で開催されている支え合い推進会議の取組も導入してはどうか。
委員④	家庭内での転倒が多いので「転倒注意」のポスターを高齢者宅へ配るようには。
委員⑤	高齢者の安全対策については、体系的に取り組んでいるようだが、さらに実態調査を踏まえ、万全を期されるようお願いする。
委員⑥	（市の対応へのお礼） 警察で取り扱った高齢者の保護、行方不明については、長寿支援課と連携を図ることにより、生命及び身体の安全確保に努めていく。
事務局	ご意見ありがとうございます。今後の取り組みの参考とさせていただきます。